学校番号	1001

令和８年度　芸術科　書道

教科	芸術	科目	書道カルチャー	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・それぞれの分野の特徴を捉え反復練習を行い、基礎的な技能を身に付けます。
・自らが決めた題材を創作し、書を通して幅広い自己表現を目指します。
・作品を鑑賞することで、感性を豊かにし鑑賞力を身に付けます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせる。書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成することを目指す。
(1)書の表現方法・形式・多様性などについて理解を深めると共に、書の伝統に基づき表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現できるようにする。
(3)主体的に創造的な諸活動に取り組み、書を通して心豊かに創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味を考え、書の美を味わい捉えてりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書	・漢字の楷書・行書・草書・隷書・篆書の古典の臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形を工夫しながら全体の構成を考え創作する。	a:各書体の古典の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。（知） a. 各書体の古典に基づく効果的な表現の技能・全体構成の技能を身に付けている。（技） b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	学習シート 作品 相互評価	振り返りシート 作品
	作品制作①	・漢字の書の分野を生かした作品制作に主体的取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、個性的な表現について味わい捉えたりしている。	a: 各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。(知) b: 各書体の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品	学習シート 作品	振り返りシート 作品 鑑賞
	仮名の書	・臨書を通じて古筆の表現形式に応じた全体の構成と仮名の書を構成する様々な要素を理解する。	a:仮名の書を構成するさまざまな要素や、仮名の古筆の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	学習シート 作品 相互評価	振り返りシート 作品

後期	漢字かな交じりの書	・目的や用途、表現形式に応じた全体構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・意図に応じた漢字と仮名の調和による全体の構成を工夫しながら表現する。	a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。（知） b:目的や用途、表現形式に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c: 主体的に漢字仮名交じりの創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品	学習シート 作品 相互評価	振り返りシート 作品
	作品制作②	・年間を通し学んだ分野の中から、まとめの制作課題を自ら設定し、主体的に作品制作に取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、個性的な表現について味わい捉えたりしている	a:分野の特徴、要素と表現効果の関りについて理解を深めている。 b: 目的や用途、表現形式に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に分野別の制作物について創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	作品	学習シート 作品	振り返りシート 作品 鑑賞

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度